

令和6年度 総務部長マニフェスト

総務部長	長根 英俊
------	-------

【基本方針】

まちづくりの基本理念である「子どもたちに誇れる笑顔日本一のまち久慈」の実現に向け、久慈市総合計画に掲げた事務事業の確実な進捗を図るため、職員一人ひとりの持てる力を結集し組織として取り組んでいく必要があります。複雑多岐にわたる業務が増えていくなか、職員が持てる力を十二分に発揮するには、仕事と生活とのメリハリのつけた生活が肝心であり、ワークライフバランスの充実に取り組みます。

また、近年多発してきている自然災害や、令和4年3月に県が公表した最大クラスの地震津波へ備えるため、自助・共助・公助を組み合わせて、万全を期していきます。

加えて、財政の健全化に取り組みます。

【重点目標】

1 魅力ある職場づくり	達成状況	未達成
●重要業績評価指標 (KPI)		
指標	種類	単位
職員提案（業務改善）件数	アウトプット	件
有給休暇の取得日数5日未満者	アウトカム	人
男性の育休取得率	アウトカム	%
基準年	基準値	目標値
R5年度	5	5
R5年度	35	10
R5年度	57	85
実績値	3	15
達成率	60%	18%
●取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> 限られた職員で、多様化、複雑化、業務が増加している行政需要に的確に対応していくためには、業務の効率化を進め、職員一人一人がやりがいを持って、持てる能力を最大限発揮する必要があります。そのためにはワークライフバランスの充実が必要となります。職員自ら、働き方改革を意識するとともに、業務の効率化・改善に取り組むため、総務部各課において、職員提案（業務改善部門）を行います。 有給休暇を有効に活用し、学びや遊び、家族サービス、休養するなど、リフレッシュして仕事にあたるよう、庁議や部課長会議等で呼びかけ、有給休暇の取得を促進します。 男性の育休取得促進は、少子化対策の柱の一つでもあり、ワークライフバランスの実現にもつながるものであり、対象職員への所属長・人事担当部署からの働きかけを行い取得の促進に努めます。 		
●取組結果		
<ul style="list-style-type: none"> 職員自ら、働き方改革を意識するとともに、業務の効率化・改善に取り組み、3課・3件の一般提案・業務改善を行いました。 有給休暇の取得を促進に向け、部課長会議、庁議、内部通知などにより呼び掛けを行いました。 男性の育休取得促進に向け、対象職員への所属長・人事担当部署からの働きかけを行い取得の促進に努めました。育休取得率の目標は達成できませんでしたが、育児休業以外の特別休暇（配偶者出産休暇、育児参加休暇）を取得している職員を含めると、目標達成となります。 <ul style="list-style-type: none"> ▶男性の育休取得（8人中1人） ▶男性の特別休暇取得（8人中7人） 		

2 地域防災力の強化	達成状況	未達成
●重要業績評価指標 (KPI)		
指標	種類	単位
津波避難訓練参加者数	アウトカム	人
自主防災組織結成率	アウトカム	%
消防団員充足率	アウトカム	%
防災士養成者数	アウトカム	人
非常用食料備蓄数	アウトプット	食
基準年	基準値	目標値
R5年度	2,043	3,500
R5年度	74.2	100
R5年度	90	90
R5年度	50	50
R5年度	29,304	40,288
実績値	1,669	79.4
達成率	48%	79%
	85.7	95%
	48	96%
	29,167	72%
●取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> 近年、多発激甚化してきている自然災害から市民の命を守るため、自助・共助・公助の取組を強化し、地域の防災力を高めていく必要があります。 ①自助 <ul style="list-style-type: none"> 市民一人ひとりの防災に対する意識の向上が肝心であり、避難訓練や防災研修会などを行い、意識向上に努めます。 ②共助 <ul style="list-style-type: none"> 共助の要である消防団の団員確保、自主防災組織の結成・活動の促進、地域防災リーダーとなる防災士を養成し、共助の取組を強化します。 ③公助 <ul style="list-style-type: none"> 災害に備え、市民への意識啓発、非常用食料等の備蓄、津波避難目標地点への標識設置などに取り組みます。 		
●取組結果		
<ul style="list-style-type: none"> ①自助 <ul style="list-style-type: none"> ▶津波避難訓練の開催（9月1日） ▶その他防災訓練等の開催（20回） ②共助 <ul style="list-style-type: none"> ▶消防団員（定員740人・団員数634人）（新入団員数31人・退団者数32人） ▶自主防災組織（69団体・前年度比+9団体） ▶自主防災組織訓練・説明会（21回開催） ▶防災士養成研修講座（11月23、24日・49人受講） ③公助 <ul style="list-style-type: none"> ▶非常用食料備蓄数 <ul style="list-style-type: none"> ・アルファ化米 21,050食 ・即席おかゆ 863食 ・非常用パン 6,312食 ・補食等 942食 ▶津波避難目標地点への標識設置（99カ所） 		

3 財政の健全化	達成状況	未達成
●重要業績評価指標 (KPI)		
指標	種類	単位
収納率	アウトカム	%
一般財源削減率（R7当初予算）	アウトカム	%
プライマリーバランスの黒字額（R7当初予算）	アウトカム	千円
基準年	基準値	目標値
R4年度	98.42	98.43
R6年度	0	5
R6年度	125,000	125,000
実績値	91.40	3
達成率	93%	60%
		-835,883
		-669%
●取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> 市の予算編成は、毎年、財政調整基金等を取り崩し、繰り入れして編成していますが（県内全市で取り崩し、繰り入れている状況）人口減少を見据えて、持続可能な財政運営を行っていく必要があります。 ①歳入確保 <ul style="list-style-type: none"> 現状の高い収納率を維持・向上を図るため、新たにWEB口座振替受付サービス、預貯金等照会サービスを導入します。 ②歳出削減 <ul style="list-style-type: none"> R7年度予算編成に当たり、R6当初予算編成時の一般財源5%以上の削減が必要となることから、各部局に対し枠配分を実施します。 経常経費を抑えていく必要があることから、公債費抑制のため、歳入に見合った歳出予算とし、起債残高を減少させ、プライマリーバランスの黒字化を堅持します。 		
●取組結果		
<ul style="list-style-type: none"> ①歳入確保 <ul style="list-style-type: none"> 収納率の向上に向け、預貯金等照会サービス（5月）、WEB口座振替受付サービス（1月）を導入した。 ▶市税収納率（2月末現在） <ul style="list-style-type: none"> ・R6年度 91.40% ・R5年度 92.09% ②歳出削減 <ul style="list-style-type: none"> 財政健全化の取り組みとして、令和7年度から9年度の3か年で5.5億円の一般財源の圧縮を目標に、枠配分方式による予算編成を実施し、一般経費を3%削減を図り、令和7年度当初予算では約1.8億円の一般財源の削減を達成した。 起債残高の減少への取り組みは、久慈湊小学校の改築や小屋畑川切替工事など大型建設事業の実施により、プライマリーバランスの黒字化は達成できなかったが、後年度において起債の発行高を調整し、公債費抑制に努めます。 		

令和6年度 総合政策部長マニフェスト

総合政策部長	大崎 健司
--------	-------

【基本方針】

総合政策部は、市の横断的な政策に係る企画立案・総合調整をはじめ、行財政改革・自治体DXの推進、地域づくり活動の支援、公共交通の確保、市政情報の発信などを主な業務としています。基本理念である「子どもたちに誇れる笑顔日本一のまち久慈」の実現に向けて、総合計画の適正な進行管理を行うとともに、そのリーディングプロジェクトとして策定した総合戦略を推進することで少子化、人口減少の抑制に努め、将来にわたって子どもたちの笑顔が絶えないまちづくりに取り組みます。

【重点目標】

1 総合計画、総合戦略の推進		達成状況	未達成
●重要業績評価指標 (KPI)			
指標	種類	単位	達成率
市民満足度アンケートの平均満足度	アウトカム	ポイント	96%
総合計画の進捗率	アウトカム	%	87%
総合戦略の進捗率	アウトカム	%	90%
●取組内容		●取組結果	
<p>■ 総合計画の施策と141指標、総合戦略の6つの基本目標と46のKPIを基に進捗状況を把握し、総合計画に掲げる目標達成に向けて取り組みます。</p> <p>①市民満足度アンケートの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶市民満足度・重要度を勘案した事業設計の意識醸成 ▶アンケート分析の深化 ▶各課実施のアンケートの集約化 <p>②総合計画・総合戦略の進行管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶実施計画のローリング、行政評価等での進捗率の把握、目標達成への意識醸成 ▶総合計画基本構想の策定 ▶人口ビジョンの改訂 ▶第3期総合戦略の策定 		<p>■ 総合計画と総合戦略の目標達成に向け、下記のとおり、進行管理や住民意見の集約と施策への共有を図りましたが、目標は未達成となりました。市民満足度・重要度を勘案した事業設計、指標達成への意識醸成に努めます。</p> <p>①市民満足度アンケートの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶昨年度と同様に実施時期を早め、アンケート結果を勘案した予算要求を可能としました。 ▶アンケート結果の内部資料として、3重クロス集計や回帰分析等を実施しました。 ▶3件のアンケートを集約して実施し、事務の効率化に努めました。 <p>②総合計画・総合戦略の進捗管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶実施計画の様式変更、行政評価の実施により、総合計画・総合戦略の目標達成への意識醸成に努めました。 ▶総合計画基本構想の策定について、市長任期との調整を図り、1年延長しました。 ▶人口ビジョンの改訂、第3期総合戦略の策定を行いました。(3月) 	

2 行財政改革、ふるさと納税の推進		達成状況	一部達成
●重要業績評価指標 (KPI)			
指標	種類	単位	達成率
事業の見直しによる財源確保	アウトカム	億円	164%
ふるさと納税寄付額	アウトカム	億円	57%
企業版ふるさと納税寄付件数	アウトカム	件	50%
自治体DX推進に係る諸課題解消	アウトカム	件	100%
●取組内容		●取組結果	
<p>■ 限られた財源を効率よく活用し、持続可能な行政運営を行うため、既存の事業の徹底した見直しを行うとともに、ふるさと納税、企業版ふるさと納税を推進し、財源確保を図ります。</p> <p>①事業見直しの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶事業スクラップの継続、意識醸成の推進 ▶公共施設等総合管理計画、個別施設計画の改訂 ▶業務改善の横展開強化 <p>②ふるさと納税の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶新たな返礼品の開拓及び掲載サイトの拡大・充実 <p>③企業版ふるさと納税の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶関係企業への営業活動の全庁展開 ▶国や企業が実施するマッチング会への参加 ▶営業委託事業者の活用(年間千社超の営業活動) <p>④自治体DXの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶自治体DX推進による行政サービスの向上 		<p>■ 寄付額等の目標は達成できませんでしたが、財政健全化に向けて、継続して取り組みます。</p> <p>①事業見直しの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶枠予算による予算編成方式を取り入れたことから、事業スクラップが推進され、目標を達成しました。 ▶公共施設等総合管理計画、公共施設等個別施設計画を改訂しました。(3月) ▶業務改善ガイドブックの見直し等を行い、業務改善及び横展開の強化に努めました。 <p>②ふるさと納税の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶目標額の達成には届きませんでしたが、募集サイト及び新規返礼品の追加による拡充を行いました。 <p>③企業版ふるさと納税の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶目標の件数には届きませんでしたが、営業委託や各課の営業活動の成果により、470万円の寄附を採納しました。 <p>④自治体DXの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶計画に掲げる各課題の解消に取り組み目標を達成することができました。 	

3 地域力の向上、情報発信、移住定住の促進								達成 状況	一部達成
●重要業績評価指標 (KPI)									
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率		
地域づくりワークショップ等の開催	アウトプット	回	R5年度	78	80	75	94%		
自主防災組織結成に係る取組支援回数	アウトプット	回	R5年度	252	250	303	121%		
地域コミュニティ振興事業等の件数	アウトプット	件	R5年度	22	25	24	96%		
SNSによる市政の情報発信件数	アウトプット	件	R5年度	540	500	509	102%		
移住定住相談件数	アウトカム	人	R5年度	195	200	60	30%		
行政の関与による移住者数	アウトカム	人	R5年度	17	24	3	13%		
●取組内容			●取組結果						
<ul style="list-style-type: none"> ■ 各市民センターを拠点に、市民参加による地域づくり活動を推進し、市政及びイベント等の情報発信に努め、交流人口拡大及び移住・定住を促進します。 ①協働のまちづくりを推進 <ul style="list-style-type: none"> ▶地域が策定するアクションプランの策定を支援するワークショップ開催 ▶市民センターによる「自主防災組織」結成を支援 ▶地域コミュニティの維持・充実のための活動支援 ②積極的な市政の情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ▶市政情報やイベント情報に触れる機会を増やす ③移住・定住の促進 <ul style="list-style-type: none"> ▶久慈市の魅力発信と移住相談対応の充実 			<ul style="list-style-type: none"> ■ 移住に関する数値が大きく目標に届かなかったところであり、情報発信と地域の魅力づくりに一層努めます。 ①協働のまちづくりを推進 <ul style="list-style-type: none"> ▶市民センターと集落支援員と協働し、未来づくり事業ワークショップを地域の目標に沿って開催し、各市民センターでは町内会等への自主防災組織結成の支援を定期的に行うことができました。 ②積極的な市政の情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ▶SNSを活用し情報に触れる機会の拡大を行いました。 ③移住・定住の促進 <ul style="list-style-type: none"> ▶Kターン奨励金制度の縮小や移住相談をした方を移住につなげることが出来ず、目標を達成できませんでした。 						

4 公共交通の利用推進								達成 状況	達成
●重要業績評価指標 (KPI)									
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率		
公共交通利用促進事業の実施件数	アウトプット	件	R5年度	22	30	32	107%		
公共交通利用促進事業の参加人数	アウトカム	人	R5年度	679	700	984	141%		
●取組内容			●取組結果						
<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域住民の生活の足である路線バス及び鉄道を維持・存続させるため利用促進運動に取り組みます。 ①公共交通機関の維持・存続 <ul style="list-style-type: none"> ▶公共交通ネットワーク維持・確保の取り組みを推進 ②分かりやすい・利用しやすい利用促進の展開 <ul style="list-style-type: none"> ▶ホームページやSNSを活用した情報発信 			<ul style="list-style-type: none"> ■ 利用促進事業は順調に実施することができたところであり、マイバス・マイレール意識の醸成に努めます。 ①公共交通機関の維持・存続 <ul style="list-style-type: none"> ▶公共交通機関（市民バス、路線バス、鉄道）の維持・存続に向け、各事業者と連携して、情報発信と利用促進運動に取り組みました。 ②分かりやすい・利用しやすい利用促進の展開 <ul style="list-style-type: none"> ▶台風等災害時など、市民バス及び各交通機関の運行情報を適時にSNSを活用してお知らせに努めました。 						

令和6年度 生活福祉部長マニフェスト

生活福祉部長	久松 希美子
--------	--------

【基本方針】

「いつまでも住み続けたいと思うまちづくり」「共に支え、元氣と安らぎあるまちづくり」のため、社会的弱者への支援の充実、子育て環境の充実、市民の健康維持・向上、健康寿命の延伸に向けた取組の推進、各種相談支援体制の充実などに取り組みます。

また、持続可能な循環型社会の構築に向け、環境問題に対する意識啓発に努めるとともに、廃棄物の分別収集を徹底し、ごみ排出量の削減に取り組むほか、防犯灯のLED化を進め消費電力削減による環境負荷軽減に努めます。

少子高齢化、人口減少の状況を中長期的な視点で捉え、各種福祉サービスや市有高齢者施設・子育て支援施設等の在り方について検討を進めます。

【重点目標】

1 高齢者、障がい者等社会的弱者への支援の充実	達成状況	一部達成
--------------------------------	------	-------------

●重要業績評価指標 (KPI)							
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率
避難行動要支援者台帳登録率	アウトカム	%	R5年度	73.9	76	74.5	98%
個別避難計画策定率	アウトカム	%	R5年度	13.9	40	17.9	45%
障がい理解に向けたイベント等の開催	アウトプット	回	R5年度	2	2	2	100%
高齢者向け出前講座の開催回数	アウトプット	回	R5年度	168	170	172	101%
重度要介護認定率	アウトカム	%	R5年度	6.56	6.20	6.67	93%

- 取組内容
- 災害時に自力避難が困難な住民の不安を解消するため広報紙等を活用し「避難行動要支援者支援事業」の周知に努めるとともに、民生委員等関係機関と連携し、要支援者の名簿登録率の向上に努めます。
 - 要支援者の円滑な避難に資するための個別避難計画について、介護支援事業所等と連携し策定支援に努めます。
 - 障がいのある人もない人も、共に理解し、尊重しあい支えあえるインクルーシブな社会を構築するため、障がい理解に資するイベント等を開催します。
 - 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けていけるよう、地域のふれあいサロンやいきいき百歳体操の実施を支援し、相互に見守りができる体制整備に努めます。また、孤立化防止、フレイル予防など、健康でいきいきとした生活ができるよう、各種出前講座を開催し、重度要介護認定率の減少に努めます。

- 取組結果
- 避難行動要支援者の台帳登録については、民生委員等関係機関と連携し登録率の向上に努め若干向上したものの目標値には届きませんでした。
 - 個別避難計画策定率は、支援者の選定が難しく、目標値を下回りました。
 - 障害理解に資するイベントとして「障害理解講演会～発達凸凹さんとの関わり方が楽になる実践講座～」や「スポーツフェスタ」を開催しました。
 - 重度要介護認定率については目標を下回りましたが、いきいき百歳体操に取り組む団体が新たに3団体開設されました。また、出前講座や映画会などの事業を積極的に実施し健康意識の向上に努めました。

2 各種相談支援体制の充実	達成状況	達成
----------------------	------	-----------

●重要業績評価指標 (KPI)								
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率	
消費生活等にかかる出前講座の開催	アウトプット	回	R5年度	3	3	5	167%	
連携強化に向けた勉強会等の開催	アウトプット	回	R5年度	3	3	9	300%	

●取組内容

- 詐欺被害や消費トラブル等を未然に防ぐため、広報紙等の配布や出前講座を開催するなど、被害防止に努めます。また、警察など関係機関と連携し注意喚起に努めます。
- 複雑・多様化した支援ニーズに効率的に対応できる包括的・重層的な支援体制検討のため、関係各課や関係機関等との連携を継続するとともに、勉強会等を行います。
- 相談員等の知識習得・スキルアップのため、研修等への参加を推奨し、相談者に寄り添った丁寧な対応に努めます。

●取組結果

- 詐欺被害や消費トラブル等について、消費生活センターだよりを隔月で発行し注意喚起に努めたほか、街頭啓発や産業まつり、出前講座(6回)等により周知啓発・被害防止に取り組ましました。
- 包括的・重層的な支援のため、関係機関等との連携に努めたほか、①お金とこころの安心支援ネットワーク研修会②消費カアップ講習会(7回)③夏休み親子消費生活セミナーを開催しました。
- 相談員等の相談スキルの向上のため研修会等に延べ35回参加しました。

3 子育て環境の充実	達成状況	一部達成
-------------------	------	-------------

●重要業績評価指標 (KPI)							
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率
赤ちゃん訪問実施率	アウトプット	%	R5年度	100.0	100.0	100	100%
子育て支援センター利用者数	アウトカム	人	R5年度	5,547	5,550	4,879	88%
産後ケア事業(デイサービス型)利用延べ人数	アウトカム	人	R5年度	36	38	60	158%

- 取組内容
- 児童手当について、支給額や支給年齢の拡充等、大幅な変更が見込まれていることから、情報の収集に努め、適正な支給に努めます。
 - 子どもの数の推移を見極めながら、市が運営している保育園等子ども子育て支援施設の今後の方向性について検討を進めます。また、母子保健機能及び児童福祉機能双方のより充実した一体的な運営を図るため「子ども家庭センター」の設置(移行)に向けた検討を進めます。
 - 第3期久慈市子ども子育て支援事業計画・子ども計画について、こども基本法に基づく必要なプロセスを経ながら策定を進めます。
 - 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行うため、赤ちゃん訪問の実施、子育て支援センターの利用促進を図るほか、産後ケア事業の充実にも努めます。

- 取組結果
- 児童手当については、支給額や対象年齢の拡充等に対応し適正に支給しました。また、児童扶養手当については、所得限度額や第3子以降の加算額の引き上げに対応し、適正に支給しました。
 - 公立保育園については、市内保育園長等と今後のあり方について協議するなど検討を進めました。
 - こども家庭センターについては、令和7年度から設置(移行)できるよう体制構築に取り組みました。
 - 第3期久慈市子ども・子育て支援事業計画については、アンケートにより子どもや保護者のニーズを調査し、必要なプロセスを経て策定しました。
 - 子育て支援センター利用者は2月末で4,879人となっています。妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援となるよう、出産・子育て応援交付金の適正給付や赤ちゃん訪問100%実施を継続するとともに、産後ケア事業デイサービス型を拡充しました。

4 環境対策の推進							達成 状況	一部達成
●重要業績評価指標 (KPI)								
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率	
環境に関する学習会等の開催回数	アウトプット	回	R 5 年度	2	2	5	250%	
市有防犯灯のLED化率	アウトプット	%	R 5 年度	91.2	100.0	100	100%	
一人当たりのごみの排出量	アウトカム	kg	R 5 年度	352.6	342.0	354.6	96%	
●取組内容								
<ul style="list-style-type: none"> ■ 暮らしやすく住みよい環境を維持するため、環境問題に関する学習機会を確保し、意識啓発を図ります。 ■ 環境負荷軽減・消費電力の削減等のため市有防犯灯及び自治会等所有防犯灯についてLED化を進めます。特にも、市有防犯灯については、令和6年度内に全灯LED化を目指します。 ■ 廃棄物の適正な排出・分別方法について、広報紙や出前講座等で周知に努め、ごみ排出量の抑制に取り組みます。 				<ul style="list-style-type: none"> ●取組結果 ■ 環境に関する学習機会については、まちづくり直送便、ごみ処理施設見学会（2回）、環境学習講座（小学生対象）、環境学習講座（一般対象）を実施し確保しました。 ■ 市有防犯灯については、岩手県企業局グリーンエネルギー導入支援事業費補助金500万円を活用するなど189灯のLED化を実施し、市有防犯灯LED化100%を達成しました。自治会等所有防犯灯は96灯のLED化等に補助しました。 ■ 廃棄物の適正な排出・分別方法の周知、啓発については、市広報にごみ排出量の実績、ごみ排出量の抑制の啓発を目的とした記事掲載、産業まつりにブースを設置して取組みました。KPIの数値（354.6kg）は2月までの実績に基づく推計値ですが、目標値を上回っています。 				

5 保健活動の推進							達成 状況	一部達成
●重要業績評価指標 (KPI)								
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率	
特定健康診査受診率	アウトカム	%	R 4 年度	44.6	50.0	38.3	77%	
特定保健指導実施率	アウトカム	%	R 4 年度	40.7	45.0	73.1	162%	
50歳歯周疾患検診受診率	アウトカム	%	R 5 年度	11.3	13.0	14.8	114%	
生活習慣病等健康に関する講演会の開催	アウトプット	回	R 5 年度	1	1	1	100%	
●取組内容								
<ul style="list-style-type: none"> ■ 各種健康診査や各種がん検診等の受診率の向上を図り、疾病の早期発見、早期治療につなげます。 ■ 歯と口腔の健康は、全身の健康を維持する上で重要な役割を果たしていることから、妊娠期、乳幼児期、学齢期、成人期、高齢期等各ライフステージに応じた歯科検診の実施に努め、口腔ケアの意識醸成に努めます。 ■ 生活習慣病の予防など、健康づくりの知識の普及を図るため講演会等を開催します。 ■ 各種予防接種について、医師会等関係機関と連携し適正な接種体制の確保と接種勧奨に努めます。また、特例接種期間が終了した新型コロナウイルスについて、秋接種に向け費用助成の在り方検討を進めます。 				<ul style="list-style-type: none"> ●取組結果 ■ 特定健康診査受診率は2月末の暫定値で38.3%となっており、目標を下回っています。特定保健指導については、初回面接指導を実施しており実施率は73.1%です。今後、中間・最終面接を実施予定であり、目標を達成できるよう取り組んでまいります。 ■ 歯と口腔の健康について、20歳～70歳までの10歳きざみで無料で歯科検診が受けられる体制を整備しました。受診率は年代が若くなると低位になるため今後とも口腔ケアについて関係機関等と連携し周知してまいります。 ■ 生活習慣病等健康に関する講演会として「減塩フェスタ」を開催し、意識啓発を行いました。また、学校や商工会議所等とも連携し健康意識の啓発に取り組みました。 ■ 各種予防接種について、医師会等と連携し適正に実施しました。 				

令和6年度 産業経済部長マニフェスト

産業経済 部長	下山 琢也
---------	-------

【基本方針】

農林水産業は、生産者等の高齢化と担い手不足が深刻化していることから、産業の維持・存続を図るため、担い手の確保・育成に向けて、関係機関と連携し新規就業者の誘導に努めます。

久慈市の魅力発信と交流人口の拡大に向けては、三陸沿岸道路の開通効果を的確に捉え、道の駅いわて北三陸や、やませ土風館や市内観光施設周遊を促すとともに、各種観光イベント等の情報発信に積極的に取り組むことにより、交流人口の拡大に取り組みます。

商工業の振興と中心市街地の活性化に向けては、コロナ禍や価格高騰等による消費の停滞からの脱却を目指し、各種支援制度の周知、活用を促すとともに、中心市街地の活性化に向けて、空き店舗の活用や賑わい創出に向けた各種イベントの開催を支援します。

【重点目標】

1 農林水産業の担い手確保と基盤強化	達成 状況	一部達成
---------------------------	----------	-------------

●重要業績評価指標 (KPI)							
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率
農業新規就業者	アウトカム	人	R5年度	8	10	12	120%
多面的機能支払交付金活用件数	アウトカム	地区	R5年度	10	10	10	100%
林業新規就業者数	アウトカム	人	R5年度	3	4	9	225%
森林整備支援件数	アウトカム	件	R5年度	3	4	3	75%
水産資源活用等支援事業補助金活用組織数	アウトカム	件	R5年度	8	8	8	100%

●取組内容

- 農業新規就業者については、県や農協等の関係団体と連携し、就農相談会や作業体験、PR冊子等の配布を行い、就業者の育成・確保を目指します。また、多面的機能支払交付金の活用については、関係機関と連携し、制度利用の研修会等を開催しながら活用件数の維持を目指します。
- 林業新規就業者については、木の仕事協議会等と連携した担い手育成活動の支援により就業者の育成・確保を目指します。林業整備支援については、県と連携し計画的な施業と補助を支援し、健全な森林管理を目指します。
- ウニの浅深移植や養殖施設等の整備を行うための補助金活用について、市漁協の各種会議での説明や生産部の状況の聞き取りを行い、市内各生産部での取り組みを目指します。

●取組結果

- 農業新規就業者については、菌床シイタケの農場の雇用就農を中心に、目標を達成できました。多面的機能支払交付金活用件数については、交付金の活用組織数10組織の目標を達成しました。
- 林業新規就業者数については、木の仕事協議会との連携により目標を達成しました。森林整備支援件数については、市内の森林事業者に補助を行っているが、今年度の申請件数は3件にとどまり目標未達成となりました。引き続き制度の周知に努めます。
- 水産資源活用等支援事業補助金活用組織数については、生産部8組織の活用目標を達成しました。

2 魅力発信と交流人口の拡大	達成 状況	一部達成
-----------------------	----------	-------------

●重要業績評価指標 (KPI)							
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率
道の駅いわて北三陸施設利用者数	アウトカム	千人	R5年度	293	270	240	89%
主要観光施設（6施設）入込数	アウトカム	万人	R5年度	130	130	102.7	79%
体験型観光受入延べ人数	アウトカム	人	R5年度	4,000	4,200	4,784	114%

●取組内容

- 道の駅いわて北三陸のイベント情報等について、各種報道媒体への情報発信に努めながら、集客拡大を図ります。また、市内の各種イベントや観光施設等の情報を積極的に発信し、主要観光施設への入込数拡大を図ります。
- 体験型観光については、関係団体とともに積極的な営業を行うとともに、体験内容の充実、ブラッシュアップに努め、受入数の拡大を図ります。

●取組結果

- 道の駅いわて北三陸施設利用者数については、他の道の駅や観光施設等との連携により相互PRに取り組んだが目標未達成となりました。連携事業の拡大や更なるPRに取り組めます。主要観光施設入込数については、秋まつりの一部中止や平庭山荘・べっぴんの湯の一部休業もあり目標未達成となりました。イベントのみではなく、久慈市の魅力PRにより潜在的観光客の掘り起こしに努めます。
- 体験型観光受入延べ人数については、コロナ禍の落ちつきにより、教育旅行の受入数が増えるなどの要因により目標を達成しました。

3 商工業の振興と中心市街地の活性化	達成 状況	一部達成
---------------------------	----------	-------------

●重要業績評価指標 (KPI)							
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率
空き店舗活用出店数	アウトカム	件	R5年度	3	3	2	67%
周遊促進イベント支援件数	アウトカム	件	R5年度	10	10	13	130%
観光交流センター「風の館」利用者数	アウトカム	千人	H30年度	229	260	221	85%

●取組内容

- 空き店舗出店費補助金の活用周知に努め、市街地への出店支援に努めます。
- 各種団体が企画するイベントを、補助金や体制面で支援するとともに、道の駅いわて北三陸との連携を図り、中心市街地の賑わいの創出と観光客の誘客に努めます。

●取組結果

- 空き店舗出店数については、目標の3店舗を見込んでいたが、1店舗が令和7年度開店の見込みとなり、目標未達成となった。商工会議所と連携して制度の周知に努めます。
- 周遊促進イベント支援数については、土風館やヨムノスのイベントに加え、道の駅との連携イベント実施により目標を達成しました。観光交流センター「風の館」利用者数については、観光バスの立ち寄りが減少傾向にあることや秋まつりの一部中止により目標未達成となりました。土風館、いわて北三陸、商工会議所との打ち合わせをより密にし、相互PRや観光客誘客に努めます。

令和6年度 企業立地港湾部長マニフェスト

企業立地港湾部長	谷崎 勉
----------	------

【基本方針】

いつまでも住み続けたいと思うまちづくりを進めるため、市政が持続的な発展を続けるよう、市内経済の活性化及び産業振興に取り組みます。

① 企業誘致及び既立地企業の増設などの促進による雇用創出を図るとともに、学校、企業及び行政が一体となってキャリア教育の充実を図ることで、若い世代が「地元で働き続けたい」と思えるような雇用環境づくりを進めます。

② 脱炭素社会の構築を目指し、久慈地域エネルギー(株)と連携し、地域に裨益するエネルギーの地産地消に取り組みむとともに、市内公共施設及び民間事業所への再エネ導入の促進並びに久慈市沖洋上風力発電事業の事業化に取り組みます。

③ 市民の生命と財産を守る久慈港湾口防波堤について、2033(令和15)年度に完成されるよう要望活動を行うとともに、久慈港の利活用環境の改善に取り組みます。

【重点目標】

1 若者定着を促進するための魅力ある産業のまちづくりの推進

達成状況	達成
------	----

●重要業績評価指標 (KPI)							
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率
大卒人材等確保に向けた情報共有会	アウトプット	回	R5年度	3	3	3	100%
大卒人材等確保に向けた情報共有会	有効性指標	人/回	R5年度	13	13	19.7	152%
管内新規高卒者の管内就職率(1月末)	アウトカム	%	R5年度末卒業	46.9	50	51.0	102%

●取組内容

- 学校・企業・行政が一体となって「地域ぐるみ」によるキャリア教育事業を推進します。
 - ▶ 教育担当者・事業所担当者研修会(7月)
 - ▶ 合同職業講演会「キャリアオーケストラ」(10月)
 - ▶ 合同職業体験「社会体験Week」(11月)
- 市内企業が学生の就職動向などを把握できるよう情報共有会を開催するとともに、魅力ある企業づくりを支援しながら、地元就職及び採用後の定着の促進に取り組みます。
 - ▶ 大卒人材等確保に向けた情報共有会(6・7・3月)

●取組結果

- 学校及び企業の協力を得ながら、キャリア教育事業を推進した。また、本年度は、野田村及び普代村の参加を得て、「地域ぐるみ」での事業実施となりました。なお、2月には、教育機関(小・中・高の教員)、事業所、行政関係者等を対象とした「キャリア教育推進連携シンポジウム」に参加し、事業体験した教員・生徒の発表を交えて、本事業の総括を行いました。
 - ▶ 学校及び受入事業者向け研修会の開催(8月)
 - ▶ キャリアオーケストラの開催(10月10日)
 - ▶ 社会体験Weekの開催(11月中旬)
- 地元就職及び採用後の定着の促進に向け、各種事業を実施しました。
 - ▶ 市内企業の人材確保・採用活動強化のための情報共有会開催(6・8・2月)
 - ▶ 市内企業とともに高等教育機関等を訪問(12校)
 - ▶ 個別企業へのフォローアップ・アドバイザー派遣(7社・37回) ※2月末時点

2 雇用の場の確保に向けた企業誘致等の推進

達成状況	一部達成
------	------

●重要業績評価指標 (KPI)							
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率
補助金等の申請支援	アウトプット	件	R5年度	9	5	9	180%
企業立地奨励補助金活用(新規)	アウトカム	件	R5年度	0	1	0	0%

●取組内容

- 企業の誘致、既立地企業へのフォローアップによる経営課題に対する支援を通じて、雇用の創出に取り組みます。特に、岩手県及び岩手県土地開発公社と連携を図り、久慈地区拠点工業団地への企業集積が進むよう取り組みます。また、RE100宣言企業及び再生可能エネルギー関連事業者等が市内への事業進出意欲が高まるよう、企業訪問及び情報交換に努めます。
 - ▶ 既立地企業へのフォローアップ訪問(随時)
 - ▶ 企業ネットワークいっしょへの参加(7月)

●取組結果

- 既立地企業へのフォローアップ訪問により把握した経営課題に対して、各種制度の活用などの提案を随時行うとともに、補助金等の獲得に向けて申請書作成の支援を行いました(9件)。
- 久慈地区拠点工業団地への企業誘致については、今後の増設を想定した分譲案件を、岩手県土地開発公社と分譲希望企業との調整に努めながら完了することができました。また、分譲可能面積の減少を踏まえて、産業用地の適地調査結果を活用して、業界紙への掲載を通じて整備手法の調査・情報収集を行いました。

3 再生可能エネルギーの導入促進

達成状況	一部達成
------	------

●重要業績評価指標 (KPI)							
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率
脱炭素先行地域 事業啓発(広報、チラシ配布)	アウトプット	回	R5年度	1	2	4	200%
脱炭素先行地域オンサイトPV(公共以外)	アウトカム	件	R5年度	5	85	4	5%
洋上風力発電事業の市民啓発	アウトプット	回	R5年度	2	2	1	50%

●取組内容

- 脱炭素社会の構築及び再エネ導入促進による地域経済への波及効果に資するため、市が出資する久慈地域エネルギー(株)と連携し、エネルギーの地産地消を推進します。脱炭素先行地域関連事業(山形町)については、地域の再エネ化が促進されるよう住民への普及啓発に努めながら、計画の着実な進捗を図ります。
 - ▶ 脱炭素先行地域関連事業の周知(地域説明:4月)
 - (広報記事:6月、チラシ配布:10月)
 - (相談対応:随時)
- 久慈市沖洋上風力発電事業の事業化を目指し、国・県及び発電事業者及びステークホルダー等関係者との情報交換及び協議に努めます。特に、漁業協調策の検討を深めることに注力します。(随時)

●取組結果

- 脱炭素先行地域推進事業については、事業趣旨についての住民理解が不可欠なことから、「広報くじ」や「おらほーるだより」への記事掲載、各種説明会や戸別訪問など、積極的に周知活動を展開しました。しかしながら、太陽光発電設備及び蓄電設備の設置においては、初期投資の負担感や財産処分制限への不安等から、大きく計画を下回りました。
- 久慈市沖洋上風力発電事業については、関係者等との対話を継続し、漁業協調例を示しながら地元漁船漁業者から概ねの理解を得ることができ、久慈市漁協において今年度内に意見集約をいただく予定です。また、他の先行利用者に対しても県と連携しながら、随時、情報提供等を継続し、法定協議会への参加意向を把握する取り組みを進めました。

4 久慈港の整備促進							達成 状況	一部達成
●重要業績評価指標 (KPI)								
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率	
国に対する要望活動	アウトプット	回	R5年度	2	2	3	150%	
R7年度予算 (R6補正 + 当初見込)	アウトカム	百万円	R4~6年度平均	2,675	3,000	2,000	67%	
湾口防波堤見学会	アウトプット	校	R5年度	2	4	5	125%	
●取組内容			●取組結果					
<p>■ 国の直轄事業により整備が進められている久慈港湾口防波堤（全体延長3,800m、令和15年度完成予定）の整備が着実に進むよう、関係省庁への要望活動を行います。また、湾口防波堤整備事業の重要性の市民理解を深めるため、小中学生を対象とする見学会を開催します。</p> <p>▶国に対する要望（7・11月）</p> <p>▶見学会（随時）</p> <p>■ 久慈港の取扱貨物量の増加に向けて、荷主や荷役業者の意見等を踏まえながら、港湾管理者である岩手県に対し利活用環境の改善要望を行います。</p> <p>▶県に対する要望（7月）</p>			<p>■ 久慈港湾口防波堤整備事業の着実な進捗を図るため、7・11月に整備要望を行ったほか、久慈市沖での浮体式洋上風力発電事業の実現に向けた基地港湾指定の要望についても、今年度は新たに内閣府に対しても要望を行いました。また、湾口防波堤整備の意義について理解を深めていただくため、見学会を開催し、本年度は5校で実施しました（管内の社会科教員の見学会を別途支援）。</p> <p>■ 久慈港の利用拡大に向けては、荷主や荷役業者の意見を伺いながら、管理者である岩手県に対し具体的な環境整備の要望を行いました（統一要望、随時）。</p>					

令和6年度 建設部長マニフェスト

建設部長	大澤 匡弘
------	-------

【基本方針】

「市民が安全・安心して暮らせるまちづくり」「災害に強いまちづくり」のため、道路、河川、公園、市営住宅などの社会インフラについて計画的な維持管理を行い、その機能の維持に努めます。

市民の利便性や安全性など生活環境の向上のため、効率的かつ効果的な社会インフラの整備を行うとともに、地域振興や人口減少対策に繋がる広域幹線道路等の整備促進に向けて取組みます。

また、近年激甚化する豪雨等の災害へ対応するため、河川流域全体の関係団体が協働して実施する治水対策「久慈圏域流域治水プロジェクト」に基づき、県と連携を図りながら事前防災対策に取り組めます。

【重点目標】

1 安全で快適な市民生活を確保する社会インフラの維持管理

指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率
橋梁の点検数	アウトプット	橋	-	-	62	63	102%
橋梁の補修工事箇所数【累計】	アウトプット	橋	R5年度	6	9	9	100%
遊具の補修、更新基数【累計】	アウトプット	基	R5年度	9	13	10	77%
市営住宅の改修【累計】（公営住宅等長寿命化計画）	アウトプット	戸	R5年度	30	40	40	100%
市民満足度（道路整備の項目）	アウトカム	ポイント	R5年度	2,869	3,000	2,683	89%

●取組内容

■持続可能な社会インフラを目指し、適切かつ計画的な維持管理を実施します。

①市が管理する橋梁（311橋）の状況を計画的に把握するため、62橋の橋梁点検を実施します。（R6から5カ年計画）

②老朽化した橋梁（中の橋、久慈橋、稲荷前橋、上の橋）の補修工事を行います。

③公園施設（河川公園、あすなろ公園）の遊具の補修や更新等を行います。

④「久慈市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、新川井団地10棟の外装改修工事を行います。

●取組結果

①63橋の橋梁定期点検を実施しました。

②老朽化した橋梁5橋（中の橋、久慈橋、宇津目跨線橋、稲荷前橋、上の橋）の補修等の工事を実施しました。（稲荷前橋、上の橋については一部繰越）

③あすなろ公園の老朽化した遊具1基を更新しました。

④新川井団地改修工事10棟について、工事が完成しました。

2 市民が安心して暮らせる防災対策の推進

指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率
河川の堆積土砂撤去箇所数【累計】	アウトプット	河川	R5年度	14	28	27	96%
道路の法面補強面積【累計】	アウトプット	m	R5年度	3,190	3,420	3,450	101%
道路の舗装補修延長【8路線累計】	アウトプット	m	R5年度	3,375	6,090	5,129	84%
道路の冠水対策延長【7路線累計】	アウトプット	m	R5年度	1,030	1,935	1,792	93%
道路の無電柱化延長【累計】	アウトプット	m	R5年度	566	602	586	97%
耐震診断実施件数（耐震改修促進計画）	アウトカム	戸	R5年度	5	5	5	100%
耐震改修補助件数（耐震改修促進計画）	アウトカム	戸	R5年度	0	1	0	0%
市民満足度（防災体制の項目）	アウトカム	ポイント	R5年度	2,959	3,000	3,192	106%

●取組内容

■自然災害への予防、浸水対策及び法面崩落対策などの防災対策及び木造住宅の耐震化の促進に取り組めます。

①準用河川及び普通河川の堆積土砂撤去を行い、河川の治水能力の確保に取り組めます。

②道路法面等の土砂災害防止対策（市道久喜漁港線）や道路の舗装補修（市道滝線ほか7路線）など予防保全対策に取り組めます。

③豪雨時に生じる道路冠水等（普通河川白山川、市道中の橋栄町線ほか5路線）の解消に取り組めます。

④災害の防止、円滑な交通の確保、良好な景観の形成を図るため、市道久慈東口線の無電柱化に取り組めます。

⑤小屋畑川の河川改修事業（県事業）の促進が図られるよう、市が管理する道路・橋梁等の施設に係る各種協議のほか、地域住民との合意形成に努めます。

⑥昭和56年5月31日以前に建築された耐震性に劣る一戸建ての木造住宅について、5戸の耐震診断を実施します。

⑦耐震診断において補強工事が必要と判断された木造住宅について、1戸の耐震改修費用補助を実施します。

⑧新たな土砂災害警戒区域について、県と協力し指定に取り組めます。また、既存の危険盛土箇所の処遇についても、引き続き県と連携しながら解消を図ります。

●取組結果

①河川の治水能力の確保の取り組みとして、準用河川及び普通河川（13河川※）において、堆積土砂撤去工事を実施しました。

※準用河川（3）…田面川、柏木川、谷地中川
※普通河川（10）…沢里沢川、川貫川、西ノ沢川、高田川、下滝ノ沢川、天神堂沢川、下国坂川、国坂沢川、蟹屋敷沢川、下門ノ沢川

②土砂災害防止1路線（久喜漁港線）と舗装補修3路線（滝線、大崎本通り線、葡萄峰線）の予防保全対策を実施しました。

③道路冠水等対策として1河川（白山川）と6路線（久慈港19号線、沢山通り線、中の橋栄町線、川貫2号線、二子小袖沢線、大川目線）の整備を実施しました。

④久慈駅東口線の無電柱化について、コスト縮減のための修正設計に着手しました。（繰越）

⑤小屋畑川広域河川改修事業に係る各種協議は、遅滞なく進んでおり、県の進捗管理のもと工事が進んでいます。また、工事の進捗状況に併せて、今年度は3回の住民説明会が開催されたところであり、引き続き地域住民との合意形成に協力してまいります。

⑥民間木造住宅の耐震診断を5戸実施しました。

⑦耐震改修費用補助は、応募がありませんでした。

⑧新たな土砂災害の危険箇所について、基礎調査が完了した21カ所に対し、土砂災害警戒区域の指定に県と協力して取り組みました。また、既存の危険盛土箇所の処遇については、戸別訪問により改修を促しました。

3 安全・安心で住みよいまちづくりの推進								達成 状況	一部達成
●重要業績評価指標 (KPI)									
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率		
市民協働道路等維持補修事業の実施件数【累計】	アウトカム	件	R5年度	231	241	246	102%		
道路照明 (LED化) の更新数【累計】	アウトプット	灯	R5年度	247	311	323	104%		
歩道、歩行空間の整備延長【4 路線累計】	アウトプット	m	R5年度	2,667	3,098	3,149	102%		
道路の改良整備延長【5 路線累計】	アウトプット	m	R5年度	13,661	13,997	13,839	99%		
小屋畑川沿い地域住民との意見交換	アウトプット	回	R5年度	1	3	2	67%		
●取組内容		●取組結果							
<p>■元気と安らぎあふれる街並みの環境整備を推進し、通学児童などの歩行者通行の安全性を確保するとともに、交通の円滑化を図るため、歩行環境等の整備に取り組みます。</p> <p>①地域の道路環境等の改善を図るため、市民協働道路等維持補修事業の実施に取り組みます (10箇所)。</p> <p>②道路利用者の安全・安心を確保するため、道路照明の更新 (LED化) に取り組みます。</p> <p>③通学路の安全確保のため、関係機関と連携し、通学路の安全点検を行い、危険個所の把握に努めます。</p> <p>④安全な歩行空間の確保のため、歩道や歩行空間の整備 (市道上長内日吉町線ほか3路線) を進めます。</p> <p>⑤安全な通行を確保するため、未改良、幅員狭小、急カーブ、急勾配箇所の解消 (市道川又橋場線、市道平庭線ほか3路線) に取り組みます。</p> <p>⑥小屋畑川の河川改修事業 (県事業) に関連し、小屋畑川沿いの将来のまちづくりや地域振興について、地域住民との意見交換を継続して行います。</p>		<p>①地域の道路環境等の改善を図るため、市民協働道路等維持補修事業を15カ所※実施しました。 ※久慈地区3カ所、長内地区3カ所、小久慈地区1カ所、大川目地区2カ所、宇部地区2カ所、待浜地区2カ所、山根地区1カ所、山形地区1カ所</p> <p>②道路利用者の安全・安心を確保するため、橋梁や交差点部の道路照明灯のLED化※を実施しました。 ※橋梁…中の橋、久慈橋、久慈橋歩道橋、大成橋、新長内橋、田屋跨線橋、川貴歩道橋、新中の橋、三日町橋、幸橋、通学橋、川貴歩道橋、閑落合橋 ※交差点部…東駅前線、地下道東口線、久慈駅東口線、二十八日町新井田線、川井線</p> <p>③関係機関と連携し、5月に交通安全施設等総点検を実施したほか、11月に通学路安全推進会議で対策が必要な箇所の検討を行いました。</p> <p>④歩道3路線 (上長内日吉町線、日吉町部線、中の橋栄町線) と、歩行空間1路線 (山岸線) の整備を実施しました。(一部繰越)</p> <p>⑤交通危険箇所の解消3路線 (深田線、来内線、平庭線) の整備を実施したほか、1路線 (川又橋場線) の設計に着手しました。(一部繰越)</p> <p>⑥小屋畑川沿いのまちづくりの前段として、関係町内会の代表者等と意見交換を行いました。引き続き、まちづくりの意識醸成に取り組みます。</p>							

4 地域振興や人口減少対策に繋がる社会インフラの充実								達成 状況	達成
●重要業績評価指標 (KPI)									
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率		
国に対する要望活動 (国道281号)	アウトプット	回	R5年度	2	2	2	100%		
国に対する要望活動 (三陸沿岸道路)	アウトプット	回	R5年度	2	2	2	100%		
●取組内容		●取組結果							
<p>■地域振興や人口減少対策に繋がる広域幹線道路等の早期整備の実現に向けて取り組むとともに、安全安心に資する「久慈圏域流域治水プロジェクト」に基づき、事前防災対策に取り組みます。</p> <p>①国道281号 (案内～戸呂町口間) の改良事業の促進や「岩手県新広域道路交通計画」における「(仮称)久慈内陸道路」に関して、早期の高規格道路としての位置付けを得られるよう要望活動を行います。</p> <p>②久慈川等の主要河川の堤防未整備区間の築堤や嵩上げ、定期的な河道掘削や流木対策などの治水力向上に関する要望活動を行います。</p> <p>③三陸沿岸道路について、道路整備・利活用の観点から情報収集を行い、さらなる地域の活性化と安全性・防災性向上の方策について探求します。</p>		<p>①国道281号の改良事業及び(仮称)久慈内陸道路の早期の高規格道路としての位置付けに向けて、県への重点事項要望のほか、機会を捉えて期成同盟会としても国等に要望を行いました。昨年度から、案内～戸呂町口工区の改良工事が着手され、今年度も昨年度に引き続き道路改良が進められています。また、荒町地区の無電柱化事業及び大川目町生出町地区の歩道整備についても、工事も手に向けて事業が進んでいます。</p> <p>②久慈川等の主要河川における治水力向上に関し、河川管理者である岩手県に対し、重点事項要望のほか、機会を捉えて適正な維持管理について要望し、今年度、久慈川田屋町地区、長内川長内地区において河道掘削が実施されました。また、久慈川の大川目町地区及び荒町地区、瀬月内川の山形町来内地区において河川内の支障木の除去が実施されました。</p> <p>③三陸沿岸道路の整備効果や広域連携について沿線市町村と情報共有を図り取り組みを進めるとともに、期成同盟会等を通じて、三陸沿岸道路の機能強化について要望を行いました。また、安全性・防災性の向上の方策については、引き続き関係部署を交え研究を深めていきます。</p>							

令和6年度 山形総合支所長マニフェスト

山形総合支所長	下斗米 洋之
---------	--------

【基本方針】

地域づくり活動の推進について、山形町の維持・発展のため、住民自らが取り組む地域づくり活動を支援してまいります。また、昨年度から実施している「放課後のこどもの居場所づくり事業」について、子育て世代を支援するため、地域住民と協力し事業の充実に取り組みます。

短角牛の振興については、生産者と関係機関が一体となり、安心・安全・ヘルシーな赤身肉であることを広く情報発信し、増頭対策及び販売拡大に取り組んでまいります。また、市指定無形民俗文化財である「牛の角突き」の継承に努めるとともに、観光資源としての闘牛を更に発展させてまいります。

観光の振興については、平庭高原、内間木などの観光資源を活用したイベントを開催し、誘客と地域の活性化に取り組めます。特に日本一の白樺美林を有する平庭高原の環境整備を行い白樺林の維持・再生に積極的に取り組めます。さらに、郷土料理「まめぶ」の国の無形民俗文化財登録に向け、地域の皆さんと共に様々な事業を実施してまいります。

【重点目標】

1 山形町の未来づくり計画「やまがたビジョン」の推進	達成 状況	一部達成
-----------------------------------	----------	-------------

●重要業績評価指標 (KPI)							
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率
委員会実施回数	アウトプット	回	R5年度	5	5	5	100%
事業化実現数	アウトカム	回	R5年度	4	4	7	175%
事業参加者数/回	有効性指標	人	-	-	20	12	60%

●取組内容

- 山形町の未来づくり計画「やまがたビジョン」を推進し、目指すべき将来像を実現するための「協議」の場の開催と目標に向けたアクション（行動）への支援に努めます。また、持続可能な取り組みとするため、将来を担える団体「推進体制」の整備を進め、地域と一体となった活動を目指します。
 - ▶山形ビジョン推進委員会の開催 年5回
- ビジョンの実現を目指す4チーム「SNSの活用」「久慈溪流の景観活用」「支え合い（見守り）体制づくり」「子育てしやすい環境づくり」の活動を促進し、継続した取り組みとします。
 - ▶各チーム1事業以上の実施
- 「やまがたビジョン」内における優先目標の高い「山形町内の公共施設の在り方」について、委員会とともに検討します。

●取組結果

- 山形町が目指すべき将来像の実現を推進するため、「やまがたビジョン推進委員会」を5回開催し、ワークショップによる検討を進め、プロジェクトの推進を図りました。
- 「やまがたビジョン推進委員会」では4チームに分かれ、それぞれが事業を推進しました。各事業とも参加者数は目標値に達しませんでした。小さな事業を重ねることで、活動に関わる人や活動の幅を広げています。
 - ▶「情報」…SNSへ投稿の呼びかけ、スマホ教室
 - ▶「景観」…観光スポットの現地確認、草刈り作業、ドローン操縦者との懇談会や学習会の開催
 - ▶「見守り」…「緊急連絡カード」制作、全戸配布
 - ▶「子育て」…子どもたちのガタゴン祭り参加支援、学童保育施設の勉強会
- 令和6年度は、「山形町内の公共施設のあり方」を検討する一環として「山形総合支所の移転について」を取り上げ、委員会内で「おらほーへの移転」に伴う課題や不安、期待等を抽出し、報告書にまとめました。報告書は、行政連絡区長との意見交換会や地域住民への説明資料として活用します。

2 放課後のこどもの居場所づくり事業の充実	達成 状況	一部達成
------------------------------	----------	-------------

●重要業績評価指標 (KPI)							
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率
事業回数	アウトプット	回	-	-	166	189	114%
講座開催回数	アウトプット	回	-	-	18	4	22%
参加児童数/回	有効性指標	人	-	-	15	8	53%

●取組内容

- 令和6年1月から山形小児童を対象に実施している事業について、令和6年度については地域学（山形地域を知る）、伝統文化等の継承に向けた事業（盆踊り等）、世代間交流事業等を実施します。また、来内小学校児童についても長期休業時における実施、山形小学校との交流事業を実施します。
 - ▶地域学勉強会 8回（町内8地区の視察）
 - ▶伝統文化等継承勉強会 5回
 - ▶世代間交流事業 2回
 - ▶来内小学校との交流事業 3回

●取組結果

- 本事業については、地域からの一定の評価をいただき、施設来館者の増加にも繋がったところですが、スタッフ不足や、施設利用にあたってのマナーが徹底されない等の課題もあり、目標値を下回った取り組みもありましたが、本年1月から「NPO法人山形地域振興協議会」が福祉センターを会場に同様の事業を実施しており、今後においても関係団体等と連携し、内容の改善を図りながら実施します。来内小学校の長期休暇における実施については、希望者が無かったため、次回の検討事項とします。また、山形地区における学童保育事業の実施に向けた勉強会も開催されていることから実現に向け連携していきます。
 - ▶地域学勉強会 1回（シャワークライミング）
 - ▶伝統文化等継承勉強会 1回（山形太鼓の体験会）
 - ▶世代間交流事業 2回 ※来内小学校との交流事業業（ニュースポーツ交流会、小正月行事）

3 山形総合支所移転に向けた取り組みの推進	達成 状況	未達成
------------------------------	----------	------------

●重要業績評価指標 (KPI)							
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率
対策会議の開催回数	アウトプット	回	R5年度	3	3	2	67%
住民説明会の開催	アウトプット	回	-	-	8	5	63%
地域住民の理解度	アウトカム	%	-	-	50	10	20%

●取組内容

- 山形総合支所機能の移転について、地域全域の課題として「地域まちづくり委員会」等において、移転後の地域のあり方を検討するとともに、移転への理解を進めます。
- 「支所移転対策会議」及び作業部会の実施により、安全な施設の管理運営体制の方向性と市民の利便性の向上を検討します。
 - ▶山形総合支所移転対策会議の開催（作業部会含む）
 - ▶山形総合支所あり方検討会の開催（区長会への説明）
 - ▶地域住民説明会の開催（8地区）

●取組結果

- 「やまがたビジョン推進委員会」において、ワークショップを実施し、報告書にまとめるとともに、検討することで理解を深めるように努めました。
- 「支所移転対策会議作業部会」では、やまがたビジョン推進委員会や行政連絡区長から意見を踏まえ、レイアウトの見直しや課題の洗い直し等を行うこととしました。
 - ▶山形総合支所移転対策会議作業部会は、2回開催し、今後、必要経費等を精査します。
 - ▶「やまがたビジョン推進委員会」の報告書を基に、区長と「山形総合支所のあり方に係る意見交換会」（2/18）を実施、参加した区長からは概ね移転について理解を得ることができました。
 - ▶住民説明会は、多くの参加が得られるように自治会総会に合わせた日程を希望する地区が多いため、3月19日を始め、順次実施してまいります。

4 山形村短角牛振興と闘牛文化の発展継承及びまめぶ食文化遺産登録								達成 状況	一部達成
●重要業績評価指標 (KPI)									
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率		
闘牛大会の開催	アウトプット	回	R5年度	4	4	4	100%		
闘牛大会来場者数	アウトカム	人	R5年度	3,600	3,600	4,300	119%		
都市交流事業参加者	アウトカム	人	R5年度	42	45	20	44%		
短角牛消費拡大イベント参加者	アウトカム	人	R5年度	455	460	940	204%		
郷土食フェスタ、未来継承講座参加者	アウトカム	人	R5年度	200	200	200	100%		
参加者による評価 (満足度アンケート)	アウトカム	%	-	-	70	91	130%		
●取組内容					●取組結果				
<ul style="list-style-type: none"> ■ 山形村短角牛の生産振興と積極的なPRを行い、販路開拓と消費拡大に努めるとともに、「生産者と消費者の顔の見える関係」の構築維持のため消費者等との交流事業を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ▶盛岡、八戸及び首都圏（ホテルニューオータニ）での短角牛消費拡大イベントを開催 ▶ベゴツアー（都市交流事業）の開催 ■ 闘牛大会への集客と更なる知名度の向上と闘牛文化の継承活動に取り組めます。 <ul style="list-style-type: none"> ▶闘牛大会の開催（年4回） ▶いわて平庭高原闘牛会懇談会開催（年4回） ▶全国闘牛サミットへの参加 ▶関係機関との意見交換（課題解決） ■ 郷土料理「まめぶ」の国の無形民俗文化財登録に向けた事業を実施します。 <ul style="list-style-type: none"> ▶山形町郷土食保存継承の会とともに各種事業（未来継承講座、郷土食フェスタ）を展開 					<ul style="list-style-type: none"> ■ 山形村短角牛の販路開拓と消費拡大に向け、各種事業を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ▶短角牛消費拡大イベント <ul style="list-style-type: none"> 【盛岡市】5回の出展（約800人来場） 【八戸市】いわて山形村短角牛でナイトin八戸を開催（120人来場） 【首都圏】ホテルニューオータニと連携した「いわて牛・いわて短角牛肉フェア」を開催(9月1日から2カ月間) ▶地域資源をいかしたインバウンド向けメニューやツアー造成 <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏等での試食イベント（3回開催） ・山形村短角牛フェアを開催（市内13店舗が参加） ・モニターツアーの受入 ▶ベゴツアーの開催（20人参加） ■ 闘牛大会の知名度向上・闘牛文化継承活動を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> ▶闘牛大会の開催（全4回・延べ4,300人来場） ▶全国闘牛サミット参加（長岡市・5月26日） ■ まめぶの国の無形民俗文化財登録に向け機運を高めました。 <ul style="list-style-type: none"> ▶まめぶ展・郷土食フェスタの開催（約200人参加） 				

5 平庭高原の環境整備と日本一の白樺美林の再生								達成 状況	一部達成
●重要業績評価指標 (KPI)									
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率		
平庭高原白樺林再生協議会の開催	アウトプット	回	-	-	3	2	67%		
くじ☆ラボの開催	アウトプット	回	R5年度	3	3	3	100%		
白樺林整備作業の実施	アウトプット	m	R5年度	10,000	10,000	28,000	280%		
ボランティア活動参加者数	アウトカム	人	R5年度	443	230	458	199%		
白樺林管理計画策定（令和7年度まで）	アウトプット	%	-	-	50	50	100%		
参加者による評価（満足度アンケート）	アウトカム	%	-	-	70	100	143%		
●取組内容					●取組結果				
<ul style="list-style-type: none"> ■ 平庭高原の白樺美林を守るため、平庭高原環境整備ボランティア「くじ☆ラボ」の活動支援やイベントを開催し、白樺林整備促進による適正な環境保全と観光客の誘客に繋がる活動に取り組めます。 <ul style="list-style-type: none"> また、中長期的な白樺林の再生の取り組みとして、令和5年度に設立した「平庭高原白樺林再生協議会」とともに白樺林整備の技術指針に基づいた管理計画を策定するとともに、施業に着手します。 ▶白樺林環境整備活動の実施（くじ☆ラボ） ▶セイコーウッチなどの民間企業と連携した、日本一の白樺美林の環境保全への取組 ▶国道沿いの危険木除去及び景観整備の取組 ▶管理計画策定に向けた施業要件の変更協議及び補助事業の検討 					<ul style="list-style-type: none"> ■ 平庭高原の環境整備と日本一の白樺美林の再生に向け、平庭高原白樺再生協議会を中心に、セイコーウッチや市内企業等の支援を受けながら、各種事業を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ▶くじ☆ラボの開催（全3回・延べ458人参加） ▶平庭高原白樺再生協議会の開催（2回） <ul style="list-style-type: none"> 専門部会の開催（2回） ▶危険木の除去・景観整備の実施 ▶セイコーウッチや明治安田生命、市内企業と連携した環境保全活動 ▶管理計画の策定、施業要件の確認、施業方法の検討 白樺の利活用方法の研究 商品開発（関係団体・久慈東高校と協力） 				

令和6年度 会計管理者マニフェスト

会計管理者	田面 巧
-------	------

【基本方針】

会計課は、現金・有価証券・物品の出納や保管、支出負担行為に関する確認及び決算の調整などを主な業務としています。当市の、健全な行財政運営に資するため、会計事務の適正な執行に努めるとともに、公金の適正管理と確実な運用を行います。

【重点目標】

1 会計事務の適正な執行							達成 状況	達成
●重要業績評価指標 (KPI)								
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率	
会計事務の留意事項を掲示板に掲載	アウトプット	回	R5年度	15	18	18	100%	
例月現金出納検査での指摘無し	アウトカム	回	R5年度	0	0	0	100%	
●取組内容				●取組結果				
<ul style="list-style-type: none"> ■ 会計書類の迅速かつ的確な審査と、正確な支払いを行うために、会計事務に関する留意事項等を職員に周知するとともに、不備のある書類は、直接指導し、事務の効率化を図ります。 <ul style="list-style-type: none"> ▶会計事務に関する庁内掲示板（ガルーン）での周知 ■ 監査委員による「例月現金出納検査」において、指摘事項、ゼロ件を目指します。 				<ul style="list-style-type: none"> ■ 会計書類の作成に関する留意事項等について、ガルーン掲示を活用した周知を図ることができました。また、R6年10月から、口座振り込み日程が週2回から1回に変更となる周知も行い、スムーズな変更ができました。 <ul style="list-style-type: none"> ▶庁内掲示板の周知は目標の18回を達成しました。 ■ 「例月現金出納検査」では、2月講評まで指摘事項はゼロ件となっています。 				

2 公金の適正管理と確実な運用							達成 状況	達成
●重要業績評価指標 (KPI)								
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率	
指定金融機関等の検査実施	アウトプット	機関	R5年度	10	10	10	100%	
収納事務受託者の検査実施	アウトプット	者	R5年度	3	3	3	100%	
●取組内容				●取組結果				
<ul style="list-style-type: none"> ■ 支払い準備金に不足が生じないよう、常に収入支出見込み額を把握し、必要に応じて関係課と連携しながら繰替運用・一時借入などの対応を行います。また、厳しい財政状況ではありますが、確実な資金運用を検討します。 <ul style="list-style-type: none"> ▶指定金融機関及び収納代理金融機関の検査実施（各行1回） ▶収納事務受託者の検査実施（3団体以上） 				<ul style="list-style-type: none"> ■ 支払い準備金の確保のため、毎月25日締切で各課にお願いしている「収入支出調書」の取り纏めを行い、基金の繰替え運用（3月下旬で4基金）と一時借入（2/14～8億円、3/24～8億円）を行いました。また、今年度、資金運用（債券運用2件）を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> ▶金融機関検査は、計画していた10機関について、11月に行うことができました。 ▶収納事務受託者（コンビニエンスストア等）の検査は、計画していた3者について、11月に実施できました。 				

令和6年度 上下水道部長マニフェスト

上下水道部長	笹原 賢二
--------	-------

【基本方針】

上下水道事業は、人口減少による収入の減少や施設更新費等が課題であることから、長期的な収支計画により、持続可能な経営に努めます。

また、「いつまでも住み続けたいと思うまちづくり」に向けて、市民の安心安全な生活環境を確保するため、水道水の安定供給の確保と適切な汚水処理に取り組みます。

【重点目標】

1 公営企業の効率的な運営		達成 状況	達成
●重要業績評価指標（KPI）			
指標	種類	単位	基準年
水道事業の経営に係る勉強会の開催	アウトプット	回	—
給水料金現年収納率	アウトカム	%	R6年2月末
下水道使用料現年収納率	アウトカム	%	R6年2月末
			基準値
			目標値
			実績値
			達成率
			98.38
			98.38
			98.47
			100%
			98.79
			98.79
			98.80
			100%
●取組内容		●取組結果	
<ul style="list-style-type: none"> 水道事業の基盤強化を図るため、広域連携の推進に係る情報交換会を2回以上開催して検討を進めます。 給水料金及び下水道使用料について、年10回以上催告書を発送して収納率向上に取り組みます。 水道事業において健全経営を行うためR6年度にアセットマネジメント及びR7年度改定に向けた経営戦略の見直しを行います。 下水道事業において、今後の適正な事業を行うため、アクションプランを見直します。 		<ul style="list-style-type: none"> 広域連携の推進については、関連4事業者（八戸圏域水道企業団、軽米町、洋野町、野田村）との情報交換会を1回、連携の中心となる八戸圏域水道企業団と1回の合計2回、情報交換会を行い、現状把握と問題点の共有を行いました。 給水料金及び下水道使用料に係る催告書を、2月末時点で11回発送しました。2月末現在の収納率は、給水料金が98.47%、下水道使用料が98.80%と、昨年度より向上しました。 水道事業のアセットマネジメント及び経営戦略については、耐震化計画と連動させた計画とするため調整が必要であり、令和7年度の見直しの準備を行いました。 下水道事業のアクションプランについては、今後の適正な事業を行うため見直しを行いました。 	

2 浸水対策の推進		達成 状況	一部達成
●重要業績評価指標（KPI）			
指標	種類	単位	基準年
新築町地区雨水排水路整備延長【累計】	アウトプット	m	R5年度
新井田地区雨水排水路計画延長【累計】	アウトプット	m	—
雨水排水ポンプ場の大きなトラブル	アウトカム	回	R5年度
			基準値
			目標値
			実績値
			達成率
			90
			80
			0
			240
			67
			0
			63%
			84%
			100%
●取組内容		●取組結果	
<ul style="list-style-type: none"> 近年、頻発・激甚化する大雨の内水（浸水）対策として、新築町地区の雨水排水路の整備を進めます。 新井田地区の雨水排水路の改修に向けて設計を実施します。 雨水排水ポンプ場の運転管理を適正に行います。 		<ul style="list-style-type: none"> 新築町地区の雨水排水路建設工事については、1件が完了し、1件が繰越し見込みです。 <ul style="list-style-type: none"> ▶その3工事（R6.11月完了・延長151m） ▶その4工事（R7.7月完了見込み・延長231m） 新井田地区の雨水排水路測量設計について、目標を延長80mとしておりましたが、現地精査の結果67mとし、令和7年3月に完了する見込みです。 雨水排水ポンプ場の運転管理については、水路に堆積している土砂を撤去し、また、故障箇所は適切に修繕するなど維持管理に努め、大雨災害時は支障なく運転しました。 	

3 安定した給水体制の確保		達成 状況	一部達成
●重要業績評価指標（KPI）			
指標	種類	単位	基準年
水質事故	アウトカム	回	R5年度
半崎・麦生地区管路更新延長【累計】	アウトプット	m	—
			基準値
			目標値
			実績値
			達成率
			0
			1,500
			1,269
			85%
●取組内容		●取組結果	
<ul style="list-style-type: none"> 水質事故を起こさないため、定期的に水質検査等を行います。 災害に強い水道網を構築するため、耐震性が低い老朽化した半崎・麦生地区等の配水管（塩化ビニル管）について管路更新工事（高度ポリエチレン管）を実施します。 		<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度水質検査計画に基づき、定期的に水質検査を行いました。今年度の水質検査結果については、全て水道法で定める水質基準を満たしております。 老朽化した管路の更新については、半崎・麦生地区において配水管更新工事3箇所を実施しています。目標延長1,500mとしておりましたが、現地精査の結果1,607mとなります。 <ul style="list-style-type: none"> ▶その1工事（R7.3月完成・延長958m） ▶その2工事（R7.3月完成・延長311m） ▶その3工事（R7.5月完成見込み・延長338m） 	

4 汚水処理施設の整備					達成 状況	一部達成	
●重要業績評価指標 (KPI)							
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率
広美町地区污水管渠敷設延長	アウトプット	m	R5年度	820	1,120	1,144	102%
浄化槽設置整備事業補助金交付件数	アウトカム	件	R5年度	32	60	33	55%
水洗化補助金交付件数	アウトカム	件	R5年度	47	139	55	40%
●取組内容				●取組結果			
<ul style="list-style-type: none"> ■ 生活環境の向上と公共用水域の水質保全のため、長内町の污水管工事（延長300m）を実施します。 ■ 浄化槽設置整備事業補助金及び水洗化補助金を活用することにより下水道接続率向上等のため、対象者に様々な媒体を活用して周知を図ります。 ■ 汚水事故を起こさないために定期的に水質検査等を行う。 				<ul style="list-style-type: none"> ■ 広美町地区の污水管渠につきましては、324mの敷設工事が令和7年2月に完了しました。 ■ 水洗化率向上のため、広報くじへの記事掲載、整備完了地区への説明会を実施するなど、普及啓発を図りました。 ■ 浄化槽設置整備事業については、3月末までに33件の補助金交付が完了する見込みです。 ■ 水洗化補助金については、3月末までに55件（公共48件（供用開始3年以内25件、3年経過23件）、漁集排7件）の補助金交付が完了する見込みです。 ■ 定期的な水質検査については、浄化センターにおいて法定水質検査を実施し、基準値以下であることを確認しながら運転しました。 			

令和6年度 教育部長マニフェスト

教育部長	中居 弘美
------	-------

【基本方針】

教育理念である「子どもたちに誇れる 笑顔日本一のまち 久慈 ～総合力豊かな人材を育てるまちづくり～」の実現に向け、第1期久慈市教育振興基本計画で定めた5つの基本方針である「未来をたくましく切り拓く自立した人づくり」「こころざしをもって学ぶ意欲を備えた人づくり」「グローバル化・情報化する社会で活躍できる人づくり」「生涯を通じて主体的に学習やスポーツに親しむ人づくり」「郷土を愛し地域を支え創造する人づくり」に基づき、学校教育、生涯学習、芸術・文化及び生涯スポーツの一層の充実に取り組みます。

【重点目標】

1 学校教育の充実	達成 状況	一部達成
------------------	----------	-------------

●重要業績評価指標 (KPI)							
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率
保護者及び地域住民との協議・調整の場	アウトプット	回	R5年度	3	3	4	133%
小中学校のVPN接続数(累計)	アウトプット	校	R5年度	1	21	21	100%
小中学校トイレの洋式化率	アウトプット	%	R5年度	49.7	52.1	52.1	100%
学習状況が良好な児童生徒の割合(小)	アウトカム	%	R5年度	83.3	90	82.6	92%
学習状況が良好な児童生徒の割合(中)	アウトカム	%	R5年度	71.7	75	72.5	97%

●取組内容		●取組結果	
<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の良好な教育環境の維持のため「小中学校の適正配置に関する基本方針」に基づき、後期計画を進めるにあたり、保護者や地域への説明を1学区当たり3回以上実施します。 <ul style="list-style-type: none"> PTA総会の際の保護者意向集約依頼(4月) 地域住民との意見交換会(8月、11月) ICTを活用した学習活動の充実に向けた環境整備として、学校とインターネット間の回線の切り替えを実施し、校務用端末のインターネット環境を改善します。 <ul style="list-style-type: none"> 業者決定(6月) 光回線工事(9月～11月) 児童生徒が快適で、安心・安全な学校生活を送ることができるよう、学校施設の整備に努めます。 <ul style="list-style-type: none"> ①トイレの洋式化工事(長内小学校、久慈中学校) <ul style="list-style-type: none"> 設計業務(5月～8月) 工事(9月～2月) ②久慈湊小学校移転改築事業 <ul style="list-style-type: none"> 造成工事(～3月) 建築工事(秋ごろ～) 小中学生の学力向上のため、指導主事の訪問や各種研修会の充実により、CRT(教研式標準学力検査)による「学習状況が良好な児童生徒の割合を増やします。 <ul style="list-style-type: none"> 指導主事の学校訪問(年1回) 研修会の実施(通年) AIドリル導入(6月) 	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校の適正配置については、1学区あたり説明会(6校・延べ24回)を行い、評価指標の目標値を達成しました。 <ul style="list-style-type: none"> PTA総会の際の保護者意向集約依頼(4月) 保護者及び地域住民との意見交換会(8～3月) 学校とインターネット間の教職員回線の切替えを実施し、小中学校のアクセスポイント等を更新・増設し、校内のインターネット環境を改善し、評価指標の目標値を達成しました。 <ul style="list-style-type: none"> 業者決定(8月) 光回線工事(11月完了) 長内小学校及び久慈中学校のトイレ改修工事は、令和7年3月に完了予定であり、トイレ洋式化率の成果指標の目標値を達成できる見込みです。 <ul style="list-style-type: none"> ①トイレの洋式化工事(長内小学校、久慈中学校) <ul style="list-style-type: none"> 設計業務(12月) 工事(12月着手、3月完了予定) ②久慈湊小学校移転改築事業 <ul style="list-style-type: none"> 造成工事(盛土工)について、3月で盛土を概ね完了するとともにJ R近接工事等の準備を進めました。 建築工事について、入札及び契約を完了しました。春以降、本格的に着手する予定です。 教員研修の実施、AIドリルを活用した個別最適な学びの充実を通して、児童生徒の資質・能力を育成する授業改善に努めましたが、CRTによる「学習状況が良好な児童生徒の割合」は、小・中とも目標を下回りました。 <ul style="list-style-type: none"> 指導主事の学校訪問(各校1回以上) 先進地視察などの教員研修会実施(通年) AIドリル導入(5月～6月) 		

2 生涯学習の充実	達成 状況	一部達成
------------------	----------	-------------

●重要業績評価指標 (KPI)							
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率
出前講座等利用者数	アウトカム	人	R5年度	1,831	2,000	1,696	85%
市民1人当たりの図書貸出数	アウトカム	冊	R5年度	3.9	5.0	3.8	76%
育成・参加型事業の参加者数	アウトカム	人	R5年度	3,018	3,500	3,301	94%
郷土芸能祭来場者数	アウトカム	人	R4年度	411	500	726	145%

●取組内容		●取組結果	
<ul style="list-style-type: none"> 子どもから高齢者までの多種多様な学習意欲を支援するため、学習機会の提供に努めます。 <ul style="list-style-type: none"> 「琥珀のまち生涯学習ボランティアバンク」「まちづくり直送便」による講師派遣、出前講座の実施【80回】 チラシやHP、各種SNSなどでの周知の充実 利用しやすい図書館を目指すため、様々なニーズを持つ利用者に配慮するとともに、青少年の読書活動の推進に取り組みます。 <ul style="list-style-type: none"> 市民の主体的な芸術文化活動を促進するため、市民参加型事業及び育成事業に取り組みます。 <ul style="list-style-type: none"> オペラWS 15回(4月～9月) 合唱WS 7回(12月～3月) 吹奏楽CL 7回(5月～2月) おらほーる演劇WS 約40回(8月～11月) 地域の伝統芸能の継承を担う郷土芸能保存団体に発表の場を提供するとともに、市民に郷土芸能の鑑賞の機会を設け、保護意識の醸成を図ります。 <ul style="list-style-type: none"> 久慈市郷土芸能祭の開催(1月) (ナニヤトヤラ連邦郷土芸能交流祭と併催) 	<ul style="list-style-type: none"> 出前講座利用者数は目標に届きませんでしたが、申込件数は81回と取り組み目安を達成できました。まなびのまち(広報誌)を刷新し学習活動につながるよう努めました。 <ul style="list-style-type: none"> Instagramで図書館の情報発信をしたほか、調べる学習コンクールや山形図書館では子どもの居場所づくりに取り組み青少年の読書活動の推進に取り組みましたが、貸出冊数は昨年度並みの結果となりました。 市民参加型・育成事業については、事業を予定通り実施しました。2月末現在で、延べ参加者数は2,982人と目標値を下回りましたが、市民の主体的な芸術文化活動の促進に努めました。 <ul style="list-style-type: none"> オペラWS 15回(延べ 360人) 合唱WS 12回(延べ 417人) 吹奏楽CL 7回(延べ1,006人) おらほーる演劇WS 40回(延べ 626人) その他事業(延べ 892人) 地域の伝統芸能継承活動の支援については、1月19日に久慈市郷土芸能祭と北緯40°ナニヤトヤラ連邦郷土芸能交流祭を併催し、発表の場や鑑賞機会を提供。726人が来場し目標を達成しました。 		

3 生涯スポーツの振興	達成 状況	達成
--------------------	----------	-----------

●重要業績評価指標 (KPI)							
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率
あまちゃんマラソン参加者数(申込者数)	アウトカム	人	R5年度	1,247	1,300	1,464	113%
おとどけスポーツ教室等の参加者数	アウトカム	人	R5年度	779	800	1,232	154%
三船十段杯争奪柔道大会の参加者数	アウトカム	人	R5年度	512	550	630	115%

●取組内容		●取組結果	
<ul style="list-style-type: none"> 「久慈あまちゃんマラソン大会」を9月29日に開催し、当市の魅力を発信します。 <ul style="list-style-type: none"> 大会参加権のふるさと納税返礼品登録 生涯スポーツの充実のため、市民誰もが主体的継続的にスポーツに親しみ、健康増進と体力づくりのできる環境整備や、生涯スポーツ推進事業の開催に努めます。 <ul style="list-style-type: none"> おとどけスポーツ教室(ニュースポーツ、ウォーキングなど)の実施【38回開催】 「柔道のまちづくりの推進のため、各種事業に取り組みます。 <ul style="list-style-type: none"> 三船十段杯争奪柔道大会の開催・早期周知 「(仮)柔道のまちづくりビジョン」の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 「あまちゃんマラソン大会」を9月29日に開催し、目標値を超える1,464名のランナーがエントリーし、マラソンを通して久慈市をPRしました。 <ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税を活用した大会参加(2件) スポーツを取り組むきっかけ作りとして、事業内容等を工夫し、目標を超える参加がありました。 <ul style="list-style-type: none"> お届けスポーツ教室(68回開催・延べ1,232人参加) 柔道まちづくりの推進のため、各種事業を実施しました <ul style="list-style-type: none"> 三船十段杯争奪柔道大会(630人参加) 柔道のまちづくりビジョンの策定 		